

ご支援いただいている皆様へ

東京都千代田区神田小川町 2-3-12 神田小川町ビル 8階  
認定 NPO 法人 環境リレーションズ研究所  
理事長 鈴木 敦子

## 2019年3月期活動報告に代えて

認定 NPO 法人環境リレーションズ研究所は 16 期目の決算を完了し、核となる活動 PresentTree は 2005 年 1 月に始動してから、15 年目を迎えます。ひとえに、皆様方のご尽力の賜物と有難く厚く御礼申し上げます。

10 年間存続できる企業は約 5%といわれますから、それなりに存在意義のある組織で在り、活動なのだと思認する一方、企業の寿命は 30 年といわれる中、30 年後に残るために今何をすべきか？を模索し続けている昨今です。

中核事業である PresentTree は、

1. 中々動かない圧倒的多数「＝一般生活者」をエコアクションに引っ張り込むインフラ
2. 成熟社会における地方創生の在り方

の 2 点を目論み、他のどの国よりも急速に少子高齢化が進み、どの国よりも個人の現預金比率が高い日本が、世界のモデルとなるべく「活力ある未来社会」を実現するために、如何に「人とお金を偏在させずに循環させていくか？」の一つの社会実験として進めてまいりました。

認定 NPO 法人環境リレーションズ研究所で、この社会実験を担いムーブメントの素地を創り、上手くいったスキームを企業や団体の皆様の本業の中で活用頂くことを株式会社環境ビジネスエージェンシーでお手伝いしつつ、持続可能な環境施策を生み出し続けること、それが、私共のミッションです。この営利と非営利組織との両輪運営こそが強みだと、対外的にも訴求し始めてからは 13 年目を迎え、やっと浸透して参りました。

首都圏のヒト達を各地方の森に植えた苗木の里親として、当地との 10 年間の交流を育み、森だけではなく地域丸ごと元気にしていく、という仕組みは、スタート来順調に広がり続け、プレゼントツリーとしての約定期間 10 年を満了するエリアが続々と出てきております。スタート当初、針葉樹単層の人工林跡地を、元の天然林に近い姿である広葉樹混交林に替えていくことには、少なからず反対を受けましたが、先般南九州の森からは、10 年の間に目立ってきた豪雨や巨大台風にもプレゼントツリーの広葉樹混交林が耐えた事に対する感謝の言葉を頂き、感慨も一入です。

引き続き「国づくり」の精神で PresentTree を推し進めますので、ご協力をお願い申し上げます。

2011 年の 3.11 後は、長年の地域振興実績と相俟って被災各地からの活動誘致が続き、目下福島県浜通り地域からのお誘いが増えております。震災復興 8 年間で未だ 4 万人超が避難しているといわれているにも拘わらず、また、帰還困難区域においては、やっと除染が始まったというタイミングであるにも拘わらず、震災の事実は風化の一途を辿る中、PresentTree の支援者の皆様が継続的に被災地の森づくりに足を運び続けること、その御縁が地域経済振興に寄与する事業化に繋がること、が地元からは大変期待されています。

また、PresentTree の森づくりの中で見えてきた新たな課題を解決するための、次の事業として立ち上げた"アーバン・シード・バンク" プロジェクトは、近年の SDG s 普及の流れに乗り、SDG s 教育の一環としてワークショップ開催のご依頼が増えていきます。

全国各地の放置荒廃里山を再生するため、真っ暗な里山に未利用資源として眠り続けている休眠埋土種子(シードバンク)から苗を育て、都市の緑化に使うことで、都市の生物多様性を向上させ、里山に人と資金を流し、かつ、障がい者の方々との協働を実現する仕組みである"アーバン・シード・バンク"と"プレゼントツリー"双方のプロジェクトの実践により、SDG s 17 のゴールの内 8 つの取組に繋がります。併せてこれからの日本の発展のためのソリューションとして機能させて参りますので、皆様からの変わらぬご厚誼をお願い申し上げます。

以下、活動報告に代えて決算のポイントを申し添えます。(別添：認定 NPO 法人環境リレーションズ研究所  
過去 10 期対比財務諸表 参照)

## 1. 経常収入について

1) 経常収入の内訳については次の通りで、安定的に皆様からのご寄附・補助金等により支えられており、謹んで深謝申し上げます。

	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
会費入会金収入	0.13%	0.11%	0.14%	0.24%	0.04%	0.26%
寄附金収入	68.76%	84.02%	74.54%	72.49%	79.09%	78.66%
補助金等収入	15.20%	6.81%	7.71%	12.85%	10.81%	8.16%
事業収入	15.61%	9.04%	17.60%	14.37%	10.06%	12.91%
受取利息(その他収益)	0.01%	0.00%	0.01%	0.0%	0.00%	0.00%
雑収入(その他収益)	0.29%	0.02%	0.01%	0.04%	0.00%	0.01%
計	100%	100%	100%	100%	100%	100%

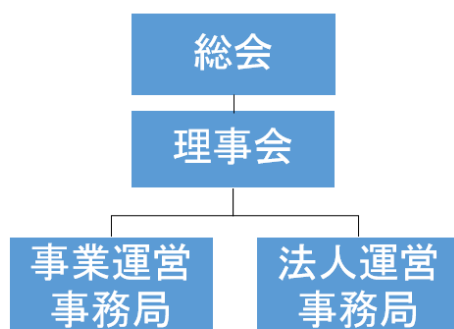
2) 10年間の事業期間に係る費用が一時期に偏ることを避ける目的で計上していた仕掛事業費が、NPO 法人会計基準に馴染まないと判断された為、前々期に会計方針を変更、仕掛かり事業費の全額取り崩しにより見かけ上の経費が一気に増えました。前期と今期については、度重なる自然災害による想定外の補植が重なったこと、プレゼントツリーの特徴である 1 本毎管理のためのプレート再装着費用等補助金対象外支出が嵩んだこと等により、実質的な経常減額となりました。これについては、補植分に充てる費用について別途寄附金を申し受けること、従来のプレートによる苗木の識別管理方式を電子的な管理に変更することで、対策を進めております。

## 2. 新年度の方針

今期は新たに北海道中川町との協定締結が叶いました。また、従来は専ら受け身一辺倒だった当所のファンドレイジングにおいて、体制の刷新により所内外様々な連携に取り組むことができつつあります。PresentTree の次の一手を探しておられる支援者の方々には、"アーバン・シード・バンク"による里山再生、生物多様性保全へのご協力を、改めてお願い申し上げます。

また、2015 年 1 月スタートから、順番に償還期限(協定期間満了)を迎えるエリアが増えており、その後の維持存続の在り方については、それぞれの事情・背景に応じた丁寧な対応で臨んでおります。その結果、今現在は恙なく期限を迎えることができ、新年度も細やかな対応を心掛けたいと思っております。

当所はこれからも、持続的な活動の拡がりのため、非営利活動と営利活動とをしっかりと両立して参ります。その為に、組織の強化を図るべく、新年度からは次の通りの運営体制にて事業に邁進いたしますので、引き続きよろしくごお願い申し上げます。



お問い合わせ先

\*\*\*\*\*

認定 NPO 法人環境リレーションズ研究所

法人運営事務局長 前野郁子

e-mail : imaeno@ebagency.jp

東京都千代田区神田小川町 2-3-12 神田小川町ビル 8 階

Tel.03-5283-8143 Fax.03-3296-8656

\*\*\*\*\*

平成30年度特定非営利活動に係る活動計算書  
NPO法人環境ルーションズ研究所

自 2018年 4月 1日 至 2019年 3月31日

(単位:円)

科 目	金額	備考
<b>I 経常収益</b>		
1. 受取会費		
会費入会金収入	130,000	
2. 受取寄付金		
寄付金収入	38,732,358	
3. 受取助成金等		
補助金等収入	4,018,874	
4. 事業収益		
PresentTree事業収入	6,356,684	
その他収入	0	
5. その他収益		
受取利息	35	
雑収入	4,284	
<b>経常収益計</b>	<b>49,242,235</b>	
<b>II 経常費用</b>		
1. 事業費		
(1) 人件費		
雑給	0	
<b>人件費計</b>	<b>0</b>	
(2) その他経費		
仕入	193,811	
荷造運賃発送費	433,648	
サンプル費	128,350	
リース料	207,360	
交際費	95,736	
会議費	16,476	
旅費交通費	916,670	
通信費	22,154	
広告宣伝費	14,774	
販売手数料	0	
販売促進費	0	
消耗品費	209,267	
車両費	16,742	
雑費	0	
外注費	19,166,918	
業務委託費	13,620,960	
寄付金	1,575,000	
支払手数料	178,879	
諸会費	0	
賃借料	342,894	
少額交際費	0	
租税公課	194,000	
保険料	85,910	
支払報酬	259,200	
他勘定振替	▲128,350	
<b>その他経費計</b>	<b>37,550,399</b>	
<b>事業費計</b>	<b>37,550,399</b>	
2. 管理費		
(1) 人件費		
給料手当	1,038,126	
雑給		
法定福利費	186,129	
福利厚生費	7,030	
<b>人件費計</b>	<b>1,231,285</b>	
(2) その他経費		
外注費	16,161,120	
荷造運賃発送費	0	
広告宣伝費	27,000	
交際費	28,290	
会議費	3,680	
旅費交通費	42,421	
通勤費	36,820	
通信費	83,504	
消耗品費	165,870	
事務用品費	1,404	
新聞図書費	0	
諸会費	2,646	
支払手数料	338,521	
車両費		
リース料		
保険料	39,430	
支払報酬	356,400	
寄付金	6,250	
減価償却費	246,275	
賃借料	30,348	
租税公課	1,604	
研修費		
法人税等	70,000	
<b>その他経費計</b>	<b>17,641,583</b>	
<b>管理費計</b>	<b>18,872,868</b>	
<b>経常費用計</b>	<b>56,423,267</b>	
<b>当期経常増減額</b>	<b>▲7,181,032</b>	
<b>III 経常外費用</b>		
1. 過年度損益修正損		
<b>経常外費用計</b>	<b>0</b>	
<b>当期正味財産増減額</b>	<b>▲7,181,032</b>	
<b>前期繰越正味財産額</b>	<b>11,036,111</b>	
<b>次期繰越正味財産額</b>	<b>3,855,079</b>	

## 貸借対照表

NPO法人環境リレーションズ研究所

2019年 3月31日現在

(単位:円)

I 資産の部		II 負債の部	
1. 流動資産	8,800,189	1. 流動負債	12,397,130
現金・預金	4,099,496	未払金	8,327,078
未収金	3,963,044	未払法人税等	70,000
商品	733,545	未払消費税等	0
立替金	4,104	預り金	52
		短期借入金	4,000,000
2. 固定資産	7,452,020	2. 固定負債	0
(1)有形固定資産	7,452,020		
土地	7,452,020	<b>負債合計</b>	<b>12,397,130</b>
(2)無形固定資産	0	<b>III 正味財産の部</b>	
工業所有権	0	前期繰越正味財産	11,036,111
ソフトウェア	0	当期正味財産増加(減少)額	△7,181,032
(3)投資その他の資産	0		
		<b>正味財産合計</b>	<b>3,855,079</b>
<b>資産合計</b>	<b>16,252,209</b>	<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>16,252,209</b>

## 財務諸表の注記

### 1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2011年11月20日 NPO法人会計基準協議会)によっています。同基準では、特定非営利活動促進法第28条第1項の収支計算書を活動計算書と呼んでいます。

#### (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法を採用しております。

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

固定資産は、法人税法の規定に基づいて旧定額法又は定額法で償却をしています。

#### (3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込経理方式によっています。

### 2. 事業別損益の状況

別紙のとおり

### 3. その他

(1) 当期経常減額は、気象災害等により過去に植栽した分の補植等の追加費用が予想以上に発生したことによります。

以上